

バイオ系のキャリアデザイン

就職支援 **OG OB** インタビュー編

Interview ①

一般財団法人バイオインダストリー協会 事業連携推進部 (次長)
(執筆当時、アステラス製薬株式会社より出向・2018年11月帰任)

井出 寛子



出身大学・卒業年度：東京大学大学院 生命科学研究科 応用生命工学専攻 2004年 博士課程修了
博士論文タイトル：TGF-β標的遺伝子MAFbxの単離および解析

「現在の仕事について」

◆担当職務

ベンチャー支援, BioJapan, および JBA セミナーの企画, 主にデジタルヘルス関連の講演と意見交換, 政策提言.

◆現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容

・入社後, 2013年8月までは研究本部薬理研究所生活習慣病研究室, および分子医学研究所バイオ創薬研究室に所属し, 糖尿病, サルコペニア, カケクシアなどの筋萎縮治療における創薬研究, 免疫疾患における抗体創薬研究に従事.

・2013年9月から2015年8月まで内閣府規制改革推進室(創業・IT WG, 地域活性化 WG に所属)に出向し, 民泊, 建築, 金融, 大学ファンドなどの規制改革を担当.

・2015年9月から2016年8月まで渉外部に所属, 9月よりバイオインダストリー協会に出向中.

◆そこでのやりがい

研究本部では, 筋萎縮治療など新規疾患の提案を複数担当しました. 国内外の専門家に意見聴取する機会などを通して, 新しいプロジェクトを創出する醍醐味を知ることができました. 出向以降は, 異なる業界を含め, 多くの出会いを通してさまざまな考え方に触れることができました.

◆現在の会社・組織(アカデミアを含む)の魅力

ベンチャー, 企業, アカデミア, 行政など国内外問わず, さまざまな方にお会いする機会があり, ネットワークを広げられるだけでなく, 自分のやる気次第で, 可能性を広げることができることかと思えます.

◆現在の就職を決めた理由

治療薬のない疾患の創薬研究に携わり, 社会に役に立つものを創出たくて, 製薬企業に就職しました. 出向は予期しないキャリアでしたが, 社会に規制改革や産業振興という形で役に立つことができると思い, 決めました.

◆将来設計(描けるキャリアパス)

挑戦したいこと, 現在の夢(後述)はありますが, 固執せず, ご縁や巡り合わせを大切にしながら, 予期しないキャリアも受け入れる余裕は持ち続けたいと思っています.

◆挑戦したいと思っていること

海外の拠点でデジタルヘルスに係る事業連携などの業務に携わってみたいと思っています. また, 製薬企業の専門性を活かして, セキュリティなどのデジタル技術を医薬産業に融合させる活動, 業務に携わりたいと考えています.

◆社会人として一番感動したこと

2009年の国際老年医学会に参加し, サルコペニアとフレイルの各グループの疫学に関する発表を聴き, 研究の成果が社会実装されるためにはルールが必要であり, そこには戦略があることを目の当たりにした時のインパクトは今でも忘れられません.

◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

研究所で新しい提案を通せなかったことや内閣府の出向時に専門分野以外の分野の規制改革を担当しており, 慣れるのに時間がかかったことでしょうか. 腐ることなく, 目の前のことを一生懸命やること, 一人ではなく, 多くの方々に助けていただいて乗り越えることができたと思います.

◆仕事のプロになるコツ

人との出会いを大切に, 仕事を自己満足で終わらせることなく, 顧客は誰か, 仕事のミッションは何か, 本質は何かを徹底して追求することかと思えます.

◆博士力, どこで発揮していますか?

仕事柄, 異なる分野の方々とお会いすることも多いですが, その分野の詳細は理解できなくとも, 相手の方の知

見の深さや専門性の高さを知り、誰に意見を聞くべきか、何を聞くべきか考えるときに発揮していると思います。

「人生について」

◆何のために働くのですか？

先の未来にどんなテクノロジーやビジネスが発展、展開するのかを知ることで、会社、社会に貢献できればと思います。

◆ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

仕事に注力するため、職責にふさわしい仕事ができるようになることを目指すため。

◆ワークライフバランスで工夫していること

休日はなるべく仕事のことは考えず、興味を引く本を読む、外出するなど気分転換を心がけるようにしています。

◆現在の夢

デジタルヘルス産業を普及させるために、製薬産業とベンチャーの事業連携やデジタルヘルスに係る制度設計に携わりたいと思っています。

◆将来の展望

現在、デジタルヘルスは特にビジネスやルール面で海外が先行していますが、日本にも社会に貢献し、海外に展

開できる技術はあると思っています。人との出会いを大切にしつつ、海外とのハブ役として日本の技術、ベンチャーを海外に発信していくことが将来の目標です。

「後輩へ」

◆学生時代にやっておいたらよかったと思えること
留学はしてみたかったです。また、今だから言えることですが、他の学問分野も学んでみたかったとも思います。

◆その他なんでも、後輩に伝えたいこと

内閣府の出向は、それまで研究者人生しか考えていなかった私にとってまったく予期しないキャリアの転換でした。その時にもっとも役に立ったのは、研究本部時代の専門家意見聴取のノウハウでした。何が役に立つかは予測できないとしみじみ感じます。いろいろな方々にキャリアの話聞く機会も多いのですが、最初からやりたいことを実現されている方もいますが、与えられたキャリアで花開いていらっしゃる方もいます。予期しないキャリアであっても、一生懸命やればやりたいことも見いだせますし、何より一生懸命やったことは必ず役に立つのではないかと思います。

連絡先 E-mail: hiroko.ide@asetellas.com

Interview ②

神戸市 環境局
酒井 隆彬



出身大学・卒業年度：大阪大学大学院 工学研究科 生命先端工学専攻 2013年度 博士前期課程修了
修士論文タイトル：Assembly and multi-expression of thermophilic enzymes in *Escherichia coli* for *in vitro* metabolic engineering

「現在の仕事について」

◆担当職務

神戸市内のクリーンセンター（ごみ焼却施設）や埋立処分地が公害を起こさないように管理・監視をしています。

◆現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容

・2015年度～2016年度：環境局環境保全部環境保全指導課

燃料電池自動車や電気自動車等環境にやさしい自動車の普及啓発や交通に起因する大気汚染や騒音、振動などへの対応を通じた市内交通環境の保全

・2017年度～現在：環境局事業部管理課

◆そこでのやりがい

クリーンセンターや埋立処分地は人々の生活になくはないものです。その中にある施設・設備について、さまざまな分析結果などをもとに現場と相談をすることで、よりよい運転方法が確立できた際にはやりがいを感じます。

◆現在の会社・組織（アカデミアを含む）の魅力

地方自治体ということもあり、なじみのある地域のために化学や生物学の知識を使うことができるということです。

◆現在の就職を決めた理由

日本を代表する大都市でありながら、自然豊かである神戸市に以前より魅力を感じていました。自分が魅力を感じた街のために化学や生物学の知識を活かしたいと思ったためです。

◆将来設計（描けるキャリアパス）

現在は埋立処分場にある排水処理施設の維持管理がメイン業務の一つです。その他主な配属先では、水道水を作る際の水質分析業務や下水処理場の維持管理業務などに携わることができ、水処理に携わる機会が多いです。私も水処理のエキスパートになりたいと考えています。

◆挑戦したいと思っていること

クリーンセンターは小学生などの見学があり、市民の方にある程度開かれています。現在、埋立処分地やその排水処理施設はそういったものはありません。どういう形でPRできるかも含め、広報といった面からも考えていきたいと思っています。

◆社会人として一番感動したこと

以前の部署で、自動車の走行に伴う振動の苦情を受けたことがあります。何度も現場に足を運んで状況を確認したり、振動の測定を行ったりした結果をもとに関係部署と連携し、問題を解決することができました。その際、申立者の方からお礼を言われた際は頑張ってたかったと思いました。

◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

施設の維持管理業務に携わっていると、土木部署の方や機械部署の方と協力しなければならない機会が多いです。そういった専門分野が異なる方々との意見のすり合わせはいつも難しいと感じています。要点を端的に伝えること、分からないことはできるだけその場で聞くことを心がけています。

◆仕事のプロになるコツ

自分の考えをしっかりと持つこと、専門分野外の人とも積極的に意見交換をすること、現場を知ることが大切だと思います。

◆理系人材力、どこで発揮していますか？

データの分析をして、今後の方針などを決める際、学生時代に「なぜそうなるのか」と考えて研究に取り組んでいたことが活かされていると感じています。

「人生について」

◆何のために働くのですか？

自身の知識や技術を社会に還元するため。また、それを自分自身で実感し、達成感を得るため。

◆ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

お金は労働に対する対価であるという意識を絶えず持っています。得られたお金で楽しく日々を過ごし、しっかり仕事をするというサイクルをうまく回せればと思います。

◆ワークライフバランスで工夫していること

残業をしない日を決めることでメリハリをつけて業務に取り組むようにしています。また、休日はランニングをしたりして、意識して身体を動かすようにしています。

◆現在の夢

化学・生物に加えて、土木や機械的な面でも施設の運転・維持管理を考えられるようになり、部署内で頼られる存在になること。

◆将来の展望

現場を知り、ミクロな視点とマクロな視点の両方を持つ技術者になりたいと考えています。

「後輩へ」

◆学生時代にやっておいたらよかったと思えること

年齢の離れた人（理系文系問わず）とともに活動ができる場に足を運んでおけば、視野がもっと広がったのではないかと思います。

◆その他なんでも、後輩に伝えたいこと

学生の時は自由に使える時間がかなり多かったと日々痛感しています。色々な活動をして、色々な人と話をして、有意義に学生生活を過ごしてください。

連絡先 E-mail: takaaki_sakai@office.city.kobe.lg.jp